



微生物の力を利用した酵素栽培

— 地力に優る技術なし —

島本微生物農法 SINCE1946

濃縮拡大バイエム液

根糖[®] コントウ

植物の生命エネルギー、
濃縮された活性ブドウ糖と発酵のききめ

根糖は、葉面散布液（黒砂糖拡大バイエム液）を手軽に使用できるように、濃縮状態のまま発酵させ安定化させた植物活力液です。

根糖に含まれる活性ブドウ糖は、黒砂糖の発酵により生成されているため植物への浸透率が高く、灌水に混ぜると速やかに根から吸収され、含糖量を高め、健全な生育に効果を発揮します。

特に果菜・果樹類は、果実の肥大に多量のブドウ糖を必要とするため、太陽光線が十分でないとすぐにブドウ糖不足を起こし、成り疲れを起こします。また、窒素肥料の追肥時にもブドウ糖欠乏がよく見られます。このようなトラブルを未然に防ぐためにも継続的なブドウ糖補給は欠かせません。

根糖に含まれる発酵生成物（核酸、植物ホルモン様物質など）は初期生育の促進や発根促進、土壌有用微生物の繁殖にも効果を現します。

NET:1kg、5kg

製造者：島本微生物工業（株）
販売者：（株）酵素の世界社
滋賀県甲賀市水口町本丸1番23号
TEL：0748-62-3328



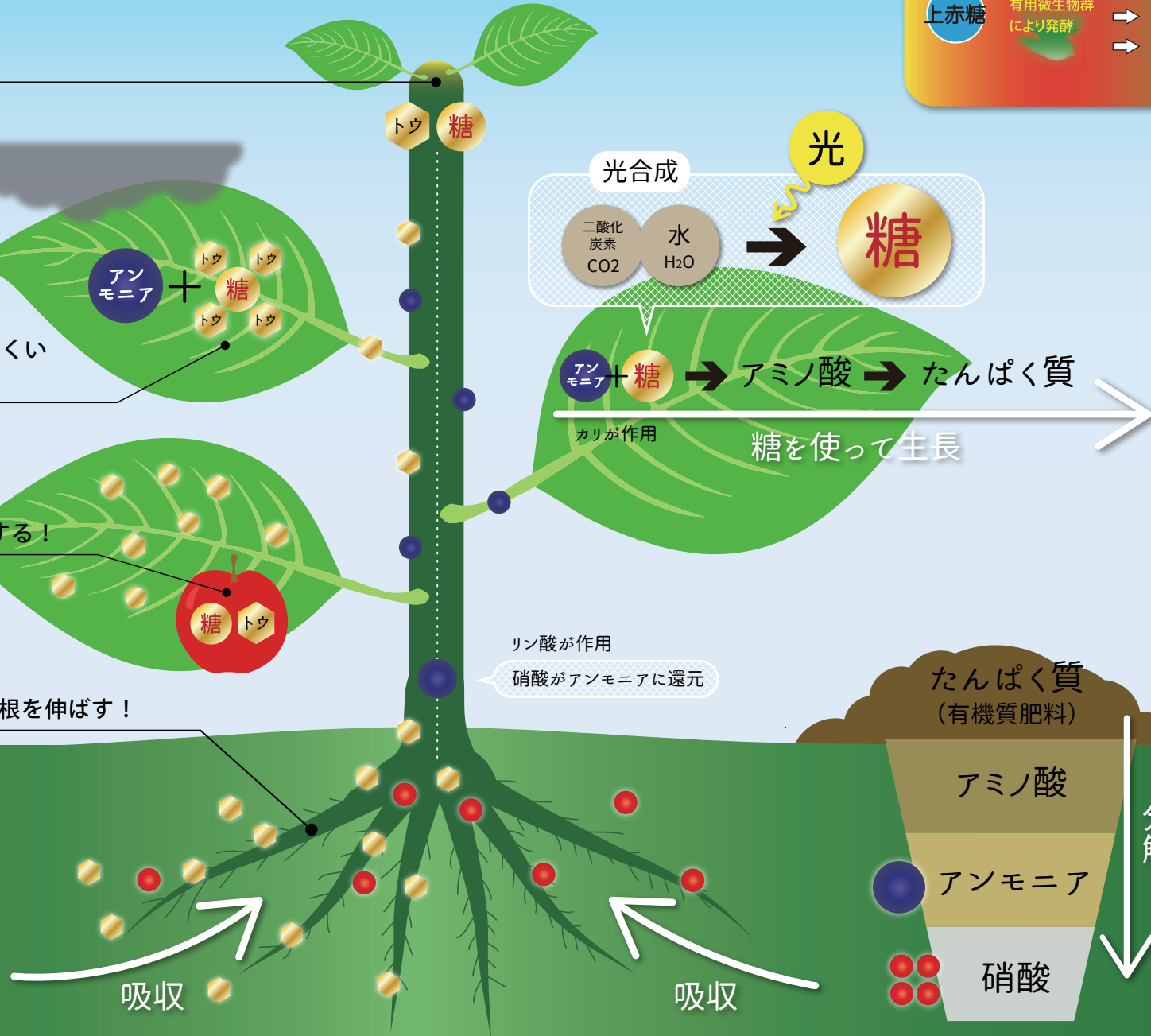
※上赤糖：ミネラル分を豊富に含む、黒砂糖と同じ含蜜糖の一種。

糖の力で成長を促進！

日照不足で光合成が進みにくい
ときでも根糖が糖を補給！

余った糖が作物をさらに甘くする！

糖を利用して新しい根を伸ばす！



上赤糖

有用微生物群
により発酵活性
ブドウ糖菌体
成分

ミネラル

根糖



近年、酢を使用した炭水化物補給が注目される中、「糖」と「酢」どちらが効果的に植物に吸収され利用されるか確認を行う。

試験概要

- 1/5000a のワグネルポットを使用
- 培養土は市販の肥料入り培養土を使用
- 作物は小松菜とし 1 ポット当たり 3 株を栽培
- 生育途中で状態を確認し各項目の測定を行う
- 小松菜が本葉 3 葉期より比較試験を行った

資材：水道水、酢、根糖

資材倍率：酢 200 倍、根糖 1000 倍

使用日：1 回目 2/16、2 回目 2/24、3 回目 3/3

灌水量：500ml/1 回

試験期間：2021.1.30 ～ 3.10



	葉長 (cm)	重量 (g)	根量 (g)
水	13.7 (100)	13.0 (100)	1.67 (100)
酢	13.6 (99.2)	12.3 (94.6)	1.33 (79.6)
根糖	14.7 (107)	16.0 (123.0)	2.00 (119.7)

値は 3 株の平均値。括弧内の数値は水区を 100 としたときの相対値を表す。

糖の方が植物の生育に効く！

- 酢の分子量は糖よりも小さいが、植物が酢を利用するためには植物体内で酢から糖に再度合成する必要があるため、糖をそのまま与える方が効率的であると考えられる。

試験結果



発酵が進むと、糖→アルコール→酢へと変化する。
植物が利用するためには「糖」の段階で発酵を止める方がよい。